

福田佐一郎氏文書概要

- 1: 文書群番号 074013
- 2: 文書群名 福田佐一郎氏文書
- 3: 出所 福田佐一郎家
- 4: 家業・役職等 庄屋
- 5: 地名 摂津国武庫郡守部村／兵庫県武庫郡守部村／武庫郡武庫村守部／尼崎市守部／尼崎市南武庫之荘8丁目ほか
- 6: 行政区分 幕府領／旗本佐藤氏(信則系)知行所／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
- 7: 歴史 守部村は近世初期には幕府領、元和3年(1617)以降旗本佐藤氏(信則系)の知行所となる。村高は「慶長十年摂津国絵図」「元禄郷帳」に386石余、「天保郷帳」に510石余。井組は守部井組。氏神は素盞鳴神社で、鎌倉末期の守部素盞鳴神社十三重塔が残っている。寺院は浄土宗来迎寺・浄土真宗本願寺派万照寺。
明治22年(1889)以降は武庫村。昭和17年(1942)以降は尼崎市の大字となった。同47年、同50年の住居表示により、南武庫之荘の一部となったほか、一部が水堂町・武庫町・武庫之荘西となり、守部という地名は消滅した。
- 8: 伝来 市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に福田佐一郎氏が史料館へ寄託。
- 9: 史料入手先 福田佐一郎氏
- 10: 点数 994点(目録件数275件)
- 11: 年代 寛保元年(1741)～明治39年(1906)
- 12: 構造と内容 本文書群は、近世後期～明治年間を中心に、①守部村の土地・貢租関係、②人別等戸籍関係、③質・干鯛・精米・酒造等諸業に関する史料、④守部用水他水利関係、⑤祭祀・寺社関係、⑥質入証文等金融関係、⑦養子・分家等家関係、⑧藩札からなる。
①は、近世期では村方助成や減免の願書等が比較的多く、近代では明治初年の地租改正関連史料が中心である。また鉄道敷設に関する史料もある。②は奉公人に関する史料が多い。⑤は来迎寺・寿福寺等村内にある寺の支配に関する史料が中心である。⑧は、福田家(福田佐五右衛門)を引替所とする文政13年(1830)4月の大和柳本藩札(一匁札)が多数を占める。
- 13: 関連史料 守部村検地帳など
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央